

国土強靱化2021

# 気候変動への対応と地域防災

## 行政・大学・企業・市民をつなぐ活動展開



一般社団法人地域国土強靱化研究所代表理事  
茨城大学名誉教授

### 安原 一哉氏

茨城大学内に、地球・地域環境共創機構「GLEC」という機関がある。前身組織（ICAS）から数えれば15年を数える、気候変動への研究・提唱を行う学術組織だ。この機関に関連する組織として、より密着した災害と地域への貢献を進めるため、「一般社団法人地域国土強靱化研究所」が2020年に設立されている。激甚化する気象災害や懸念される大地震に対して、研究所がどんな取り組みを行うのか、安原一哉代表理事に聞いた。

一般社団法人 地域国土強靱化研究所 L R R I  
Local Resilience Research Institute  
〒311-0105 茨城県那珂市菅谷4527  
URL <https://lrri.or.jp>

「気候変動問題に取り組み上で重要な課題はどのようなのだろうか。研究所の成り立ちと、活動内うか。答をお聞かせ下さい。」

「茨城大学の三村信男前学長が、地球環境の気候変動は社会にどのような影響をもたらすのかを研究、啓蒙するため、学内諸学部の横断的な人材と知見を集結させ、2008年に『地球変動適応化学研究機関・ICAS』を設立しました。これが現在の『地球・地域環境共創機構・GLEC』に発展しています。その理念は『研究は誰のため』というもので、研究は研究者だけのものではいけないと唱えられています。」

「私たちが『地域国土強靱化研究所』と『L R R I』もまた前学長の志を受け継ぎ、『先義後利をもって共助と自他共栄』を社是とし、GLECの研究活動と歩調を合わせながら、災害対策の政策や技術と、実際に災害と対峙する地域住民との間に立つ位置づけとして、2020年7月に立ち上げました。具体的な業務は、災害復旧の設計・施工、地域国土強靱化に関する調査、これらを実現する会員企業所有の技術の集約などです。会員企業は現在、法人10社、個人20名を数えています。」

「気候変動の研究取り組みは、この数年増え続け大型化して、果たして高次元でいえるのかどうかは怪しくなっています。土砂災害のあらゆるケースは、極端な降水量によって、地盤や地下の状態が危惧的状況に陥ることが明白です。このような外力の巨大化に対して、インフラは老朽化をたどり、社会基盤の脆弱化というギャップを生じさせています。そこへ、茨城県のような地

「地域の災害対策には、それぞれの分野における『アークホルダー（関係者）が欠かれません。行政に頼るだけでは不十分です。情報や資料、技術を保有する事業者の参加が不可欠です。さらに、地域の主体的にかかわる住民の存在は、もっと重要です。これらの知見を結びつけ、革新的な概念や強靱化手法を見出し啓蒙する立ち位置に、研究者や技術者があるべきです。L R R Iは諸活動、業務を通してこれらの仲介に入ります。」

「東日本大震災のような大地震の動乱と、災害の大型化をもたらす気候変動は、他人事ではなく『ワガコト』として認識すべき時代です。それは地域住民は、日常生活で何をすればいいのか、各自自治体や地域版の国土強靱化計画づくりに着手している現在、地元ならではのコミュニケーションや、経験談を活かして、備えることが大事なのです。」

「規模の大きなものとしては、2020年2月、茨城大学と連携して気候変動対応技術の展開を予定しています。折しもアラム開催を予定しています。折しもアラム開催を予定しています。折しもアラム開催を予定しています。」

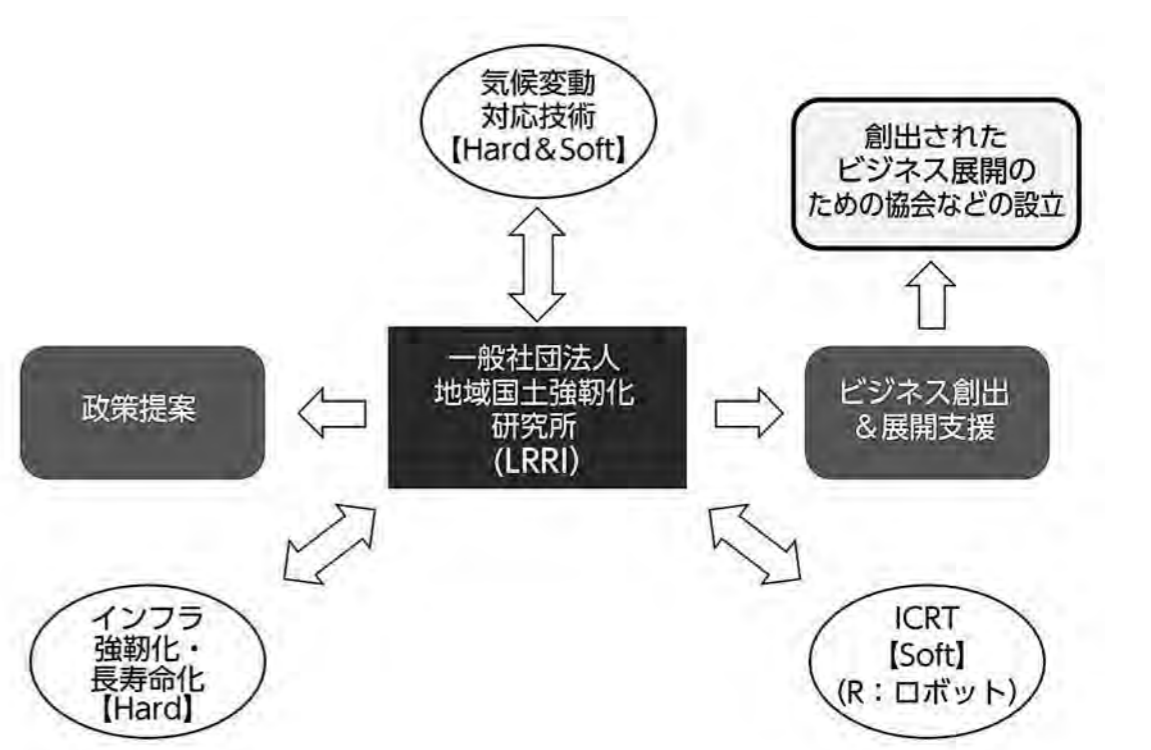
「今後の展開は何を計画し予定していますか。」

「『研究は誰のため』というもので、研究は研究者だけのものではいけないと唱えられています。」

「東日本大震災のような大地震の動乱と、災害の大型化をもたらす気候変動は、他人事ではなく『ワガコト』として認識すべき時代です。それは地域住民は、日常生活で何をすればいいのか、各自自治体や地域版の国土強靱化計画づくりに着手している現在、地元ならではのコミュニケーションや、経験談を活かして、備えることが大事なのです。」

「規模の大きなものとしては、2020年2月、茨城大学と連携して気候変動対応技術の展開を予定しています。折しもアラム開催を予定しています。折しもアラム開催を予定しています。」

「今後の展開は何を計画し予定していますか。」



## 災害は「ワガコト」と認識する時代

【顕在化するニーズ】 激化する災害や気候変動対応の新たな政策や革新的な技術。地域に根差す企業や技術者・政策担当者のスキルアップ。

【埋もれているニーズ】 ミドルとジュニアともしなやかに連携できる、深い経験、知識と技術と高い人間力を有するシニアによる社会貢献。

一般社団法人・地域国土強靱化研究所 (L R R I) の役割

災害激甚化・大規模化・広域化に対応する地域国土の強靱化に資する業務受託、技術開発・推進・ビジネス化支援、人材育成支援

L R R I の役割

【事業部】 委託された課題解決による地域貢献

一般社団法人 地域国土強靱化研究所 (L R R I)

【技術開発・展開部】 課題提案・技術開発・ビジネス展開

【教育支援部】 能力向上 & 開発・人材育成

L R R I の業務の三本柱

DAIHO CORPORATION

## UNDER RIVER

地上の水害を防ぐため、地下深くに現れる幻の川「Under River」それは、都市を守る秘密。

photo: Yusuke Tamura

大豊建設株式会社

## 若き感性、築いた伝統。

社会が進化する。ニーズは多様化する。そのスピードは早まっている。しかし私たちは動じない。海洋土木という海原で果敢にチャレンジしてきたしなやかで若い感性が息づいているから。世界をきり拓いてきた技術力とノウハウそして築きあげた伝統があるから。安全と安心を守る。豊かな暮らしを作る。そして、次の時代を生み出していく。世の中が変わっても、その志は変わらない。若築建設

若築建設 WAKACHIKU

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-23-18  
TEL.03-3492-0271 FAX.03-3490-1019  
[www.wakachiku.co.jp](http://www.wakachiku.co.jp)

環境に優しい鉄道の安全と快適を守ること。その技術を建設業に活かすこと。私たちの使命です。

## 名工建設株式会社

名古屋市中村区名駅1-1-4 JRセントラルタワーズ 名工建設 代表

## 一般社団法人 地域国土強靱化研究所

ホームページ <https://lrri.or.jp>  
〒311-0105 茨城県那珂市菅谷4527  
お問い合わせ [staff@lrri.or.jp](mailto:staff@lrri.or.jp)

【特別賛助会員】 JSP 株式会社 JSP 東京都千代田区丸の内3-4-2 新日ビル 電話 03-6212-6364

【個人会員】 建設コンサルタント 株式会社水工エンジニアリング 茨城県水戸市笠原町1220-1 電話 029-297-3500

建設コンサルタント・測量業 株式会社廣原コンサルタンツ 茨城県水戸市酒門町422-10 電話 029-246-3205

【賛助会員】 日本の土台を新しく。 岡三リビック株式会社 東京都港区港南1-8-27 日新ビル10階 電話 03-5782-9080

Achilles アキレス株式会社 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー 電話 03-5338-9200

地水開発株式会社 東京都足立区綾瀬6-26-11 電話 03-5849-5701

人と、社会と、地球の未来をカタチに 株式会社みらい建設工業株式会社 東京都港区芝4-6-12 電話 03-6438-3710

東京インキ株式会社 TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD. 東京都北区王子1-12-4 TIC 王子ビル 電話 03-5902-7628

メトリー技術研究所株式会社 埼玉県加須市南町3-40 電話 0480-47-0366

エターナルプレザブ株式会社 東京都文京区湯島2-10-10 ESSビル3階 電話 03-5844-3155

先義後利をもって共助と自他共栄を目指す

## 建設が、好きだ。

奥村組 OKUMURA CORPORATION

本社:大坂市阿倍野区松崎2-2-2 TEL.06(6621)1101 東京本社:東京都港区芝5-6-1 TEL.03(3454)8111